

みずなら

日本将棋連盟札幌中央支部（札幌市中央区北3西2NCビル2Fみずなら）
011-788-9215
FAX011-788-9215

プロ棋士大平武洋・中田功・田村康介・村中秀史



札幌中央支部師範の大平武洋プロ

多面指し指導対局

翌10日にも、支部師範の大平武洋5段の多面指し指導対局。そしてさらに、その後、田村康介6段、村中秀史6段らも入れ替わり立ち替わり指導対局に加わった。同10日には『プロ4

7月上旬、プロ棋士4名が道内ファンと交流し、将棋普及に努めた。本道を訪れたのは、札幌中央支部の師範を務めている大平武洋5段と、研究仲間である将棋普及に特に熱心なプロ棋士・中田功7段、田村康介6段、村中秀史6段。プロ4氏は数日間の

プロ棋士4人來訪・ファン大満足

札幌市滞在中、北海道棋界の発展に尽力した故新井田基信さんのお参りや、道内アマに対する技術指導、ファンとの親睦・交流など精力的に活動し、将棋文化の地方普及に努めた。指導対局は「将棋サロン&カフェみずなら（札幌市中央区北3条西2丁目）」で数日間に分けて行われた。7月9日は、田村康介6段や中田功7段が指導対局に。

高柳敏夫 名誉九段作

村中秀史6段が、詰将棋の御手本として、師匠の大伯楽：高柳敏夫名誉九段の詰将棋を示してくださった。解図欲をそそられる簡素な配置だが、先入観にとらわれると上級者でも悩む秀作だ。村中秀史プロのお話では「師匠の高柳先生はプロ棋士を目指す若手には、詰将棋の作問を禁止なさっていた」のだそつだ。



親睦会（詰将棋合戦）

アマ・プロ混合の詰将棋合戦も繰り広げられた。大盤にアマ・プロ詰将棋



北海道屈指の詰将棋作家 松田圭市さん

作家が自作の詰将棋を掲載しあって、解き合った。現在、本道でもっともア

親睦会では、囲碁自慢の対局もあった

7月9日には、日将連囲碁部で鳴らす大平武洋・囲碁三段に、みずなら屈指の囲碁猛者・小川昇アマが挑んだ。

囲碁対プロ

日本将棋連盟にも色々なサークルがあり、囲碁や野球・サッカーなどが楽しまれている。この日の親睦会では、サークル活動のウラ話などのお話も聞けてファンを楽ませた。例えば部活の「会費が安価な方が参加しやすい」のだとか(笑)。



女流プロ

アマ強豪

プロの先生4名の来道の知らせに、札幌市在住の久津知子女流初段(写真右)も駆け付け、花を添えた。

【似顔絵】札幌市在住の名イラストレータ・松元大輔さんが、棋士や希望者を即興で描きあげ、歓声を受けた。当日の作品には、各棋士のサインが添えられ、みずなら店内に展示されているのでは非、御覧頂きたい。田村康介6段が、なんだか妙に可愛いらしく描かれていたりするが、なるほど特徴をとらえている。見て楽しめる好似顔絵だ。松元大輔さんありがとうとつ。



イラストレータ
松元大輔さん



『ボクの作品も見て』

自作の詰将棋を並べる西村福太郎さん。(左 写真)



【詰将棋合戦】左は、アマプロ混合で同じ詰将棋を考えているところ。(出題・松田圭市氏)



似顔絵に満足げな中田功プロ



【右 写真】中田功7段

詰将棋の考え方を講義しつつ、ご自身も出題。



アマ強豪
中條範広氏

プロ4氏来道を楽しみに、遠路、苫小牧市から参加した強豪・中條範広さん。

【左 写真】プロ4氏来道を楽しみに、遠路、苫小牧市から参加した強豪・中條範広さん。



【右 写真】(右から)囲碁対戦を観戦する村中秀史6段・囲碁二段大平武洋5段・指導対局田村康介6段



中田功プロの指導対局を心配そうに真守る母

【プロ4氏来道記念大会】優勝箭子涼太・準優勝西村福太郎



【左 写真】大平武洋師範から直接表彰され、恐縮する箭子涼太さん(右)



決勝戦は、大平師範(写真中央)もモニター観戦



(文責・編集長山下弘人)

編集後記
プロの先生方は、実は、私的な旅行中。その中で御無理を言っただけ、お時間を割いて頂いた。にもかかわらず皆様、気さくに接して下さいました。(感謝)



上写真は夜遅くまで指導して下さった村中秀史6段

【指導対局】下田康介6段の指導対局後母も

